

平成 17 年度及び平成 18 年度 “商学部授業評価アンケート”集計結果について

商学部企画構想委員会

商学部では、平成 8 年度より、演習、ゼミナールを除く専門科目について学生による授業評価アンケートを実施してきた。アンケートはマークカードを用いた設問と、自由記述からなる。各科目ごとに集計したアンケート結果と自由記述欄は、それぞれの科目担当者に配布し、授業改善のための資料として活用することとしている。ここでは、平成 17～18 年度に実施した授業評価アンケートの全体的な集計結果を明らかにす

るとともに、どのような問題点が読み取れるのか、若干の考察を行なった。

調査の対象となった科目はゼミナールや基礎演習、会計基礎演習などを除く商学部の専門科目である。受講登録者に対する回収率は、前期では 45% 程度、後期では 35% 程度となっている。学年別では一部では 1～3 年次の回答者が 7 割を占めており、高学年になるほど回答数が減少する傾向が見られる。一方、二

I 実施状況

		H17 年 前期		H17 年 後期・通年		H18 年 前期		H18 年 後期・通年		H18 年 二部	
調査対象科目数		94		104		97		107		35	
未回収		5		4		12		7			
調査実施科目数		89		100		85		100		35	
対象科目履修登録者総数 (A)		13805		14740		11308		15877			
調査票回収総数 (B)		6142		4996		5245		5572		1230	
回収率 (A/B)		44%		34%		46%		35%			
学年別回収数 内訳	1 年次	1838	30%	1520	30%	1445	28%	2004	36%	281	11%
	2 年次	1362	22%	1379	28%	1216	23%	1593	29%	255	21%
	3 年次	1517	25%	1142	23%	1520	29%	1226	22%	427	35%
	4 年次	917	15%	625	13%	714	14%	601	11%	207	17%
	5 年次以上	97	2%	75	2%	91	2%	74	1%	33	3%
	不明 (未記入)	411	7%	255	5%	259	5%	74	1%	27	3%

部では3年次の回答者が35%と最も多くなっている。

また、回収率（回収数÷履修登録者数×100）はアンケート実施日における授業の出席状況をあらわしている。次に、科目ごとに求めた回収率の分布を示す。

全体的な傾向として、前期よりも後期のほうが回収

率つまり出席状況がやや低い傾向が読み取れる。科目ごとにかんがりのばらつきがあるが、前期では回収率40～60%の科目が最も多く、後期では回収率20～40%の科目がもっとも多くなっている。

回収率分布

回収率	H17 前期		H17 後期		H18 前期		H18 後期	
	科目数	%	科目数	%	科目数	%	科目数	%
0～20%	2	2%	10	10%	2	2%	11	11%
20～40%	22	25%	42	42%	22	26%	39	39%
40～60%	35	39%	36	36%	29	34%	34	34%
60～80%	21	24%	10	10%	23	27%	16	16%
80～100%	9	10%	3	3%	9	11%	1	1%

Ⅱ 授業の評価

評価基準 (5段階)	非常に良い	良い	普通	悪い	非常に悪い
	5	4	3	2	1

各設問に対するアンケート結果の平均値（参考までに、H16年の平均値も示す。）

	H16 平均	H17 前期	H17 後期	H18 前期	H18 後期	H18 二部
問1. 説明の仕方について (わかりやすく、要点がうまく話されていきましたか)	3.38	3.47	3.43	3.38	3.41	3.70
問2. 板書について (黒板などの字や図が見やすく書かれていきましたか)	3.17	3.23	3.20	3.16	3.19	3.46
問3. 教材について (テキスト、配布資料などは効果的に活用されていきましたか)	3.34	3.44	3.43	3.34	3.39	3.60
問4. 授業内容について (授業に興味・関心を持ちましたか)	3.38	3.48	3.40	3.41	3.40	3.73
問5. 学生との交流 (学生へ質問をしたり、学生の意見を聞いたりしましたか)	3.24	3.34	3.23	3.26	3.28	3.32
問6. 私語をする学生・騒ぐ学生に対する指導 (適切な処置をとっていましたか)	3.53	3.53	3.57	3.49	3.54	3.56
問7. 教える意欲・熱意 (これらが伝わりましたか)	3.61	3.66	3.62	3.57	3.59	3.93

総合評価——問8. この授業は全体として満足できましたか。

評価基準 (7段階)	非常に満足	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	非常に不満
	7	6	5	4	3	2	1

問 8 の評価平均値

一部					二部
H16 平均	H17 前期平均	H17 後期平均	H18 前期平均	H18 後期平均	H18 二部平均
4.50	4.50	4.41	4.39	4.35	4.90

全体としての総合評価（満足度）の平均値は以前のデータと比較してもほとんど同じ値であり、学部全体としては、満足度は決して高いとは言えない。また、一部と二部の比較を比較すると、二部のほうが総合評価の平均値が若干高くなっている。科目ごとにかなりのばらつきがあるため、以下に科目ごとに求めた評価平均値の分布を示す。

全体的な授業満足度について、評価平均値が 5.5 以上の高い評価を受けている授業は全体の 1 割前後にとどまっている。ほとんどの科目では「やや満足」ついで「どちらでもない」と回答する学生がもっとも多い。一方、「やや不満」「不満」と評価された科目が一割近くある。これらの科目では受講者の多くが授業に対してかなり強い不満を感じているものと思われる。

評価平均値の分布

問 8 この授業は全体として満足できましたか		H17 前期		H17 後期		H18 前期		H18 後期		H18 二部	
	評価平均値の範囲	科目数	%	科目数	%	科目数	%	科目数	%	科目数	%
7. 非常に満足	6.5～7.0	1	1%	0	0%	0	0%	1	1%	0	0%
6. 満足	5.5～6.5	9	10%	15	15%	5	6%	5	5%	3	9%
5. やや満足	4.5～5.5	38	43%	45	45%	39	46%	43	43%	23	66%
4. どちらでもない	3.5～4.5	34	38%	28	28%	33	39%	36	36%	8	23%
3. やや不満	2.5～3.5	7	8%	12	12%	6	7%	12	12%	1	3%
2. 不満	1.5～2.5	0	0%	0	0%	2	2%	2	2%	0	0
1. 非常に不満	1.0～1.5	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0

Ⅲ 学生の学習態度に関する設問（問 9 以降は、学生の学習態度に関する設問）

問 9. この授業への出席率はどれくらいでしたか。

	1 部								2 部	
	H17 前期		H17 後期		H18 前期		H18 後期		H18 年二部	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
0-20%	76	1%	80	2%	66	1%	78	1%	7	1%
21-40%	184	3%	120	2%	123	2%	129	2%	24	2%
41-60%	621	10%	540	11%	564	11%	640	11%	102	8%
61-80%	1174	20%	1026	21%	951	19%	1124	20%	260	21%
80-100%	3952	66%	3152	64%	3433	67%	3679	65%	826	68%
合計	6007	100%	4918	100%	5137	100%	5650	100%	1219	100%

H17 年度も H18 年度においても 80% 以上出席したと回答した学生がもっとも多く、約 7 割を占めている。しかし、調査日におけるアンケート回収率（＝出席率）が 30～40% 程度であることを考慮すると、常時授業に出席している学生からの回答数が多くなるの

は当然のことと思われる。調査当日に欠席した 60～70% の学生についてはこのアンケートからは何の情報も得られない。問 9 の結果がそのまま受講者全体の出席率を示すものではないことに留意すべきである。

IV 履修の理由

問 17. この授業を履修した理由は何ですか。

問 17 この授業を履修した理由は何ですか。	H17 前期		H17 後期		H18 前期		H18 後期		H18 二部	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 (選択) 必修だから	2673	45%	2093	43%	2376	46%	2617	46%	366	30%
2 科目の内容に関心を持ったから	1304	22%	1133	23%	1044	20%	1093	19%	541	45%
3 単位が取りやすそうだったから	682	11%	557	11%	603	12%	714	13%	61	5%
4 担当教員に関心を持ったから	521	9%	410	8%	369	7%	470	8%	30	2%
5 将来の進路と関連するから	447	7%	350	7%	413	8%	380	7%	106	9%
6 親しい友人が履修するから	110	2%	91	2%	83	2%	97	2%	10	1%
7 去年の履修者から薦められたから	64	1%	63	1%	45	1%	46	1%	14	1%
8 この時間帯には他にやりたい授業がなかったから	195	3%	217	4%	201	4%	213	4%	78	6%
合計	5966	100%	4914	100%	5134	100%	5630	100%	1206	100%

一部では、「(選択) 必修だから」と回答する学生が 45%、ついで「科目の内容に関心」(20%)、「単位がとりやすそうだから」(12%)が続く。二部では、「科

目の内容に関心を持った」と回答した学生が 45% と最も多く、「(選択) 必修だから」(30%)、「将来の進路と関連するから」(9%)が続く。

V 学習態度に関する学生の総合自己評価

問 10～16. 授業態度にたいする学生の自己評価。

評価基準 (5段階)	よくした					どちらともいえない					全くしなかった				
	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

各設問に対するアンケート結果の平均値（参考までに、H16 年の平均値も示す。）

	H16 (参考)	H17 前期	H17 後期	H18 前期	H18 後期平均	H18 二部
問 10. ノートをきちんととった	3.82	3.75	3.83	3.72	3.70	4.00
問 11. 予習、復習をした	2.66	2.67	2.72	2.72	2.73	2.65
問 12. 自発的に調べた	2.69	2.70	2.73	2.76	2.79	2.69
問 13. 先生に質問をした	2.41	2.47	2.44	2.51	2.53	2.34
問 14. 友達と話し合って理解した	3.06	3.12	3.05	3.14	3.11	2.57
問 15. 私語をしないように努力した	3.91	3.91	3.88	3.87	3.88	4.35
問 16. 定刻までに着席した	4.06	4.00	4.00	4.00	4.01	4.15
サンプル数	11,661	6,142	4,996	5,245	5,671	1,226

このアンケート結果から、全体的な傾向として、多くの学生は、授業に出席して、ノートをきちんととるものの、予習・復習や自発的な調査、教員への質問など、より積極的な学習への関心は著しく低いことが読み取れる。多くの学生は、授業をおとなしく拝聴し、ノートをとるだけの一方方向の授業に慣れ切って、そ

れだけで「ほぼ満足」しているのではないだろうか。このような傾向はアンケート結果を見る限りこの数年ほとんど変わっていないように思われる。学生に積極的な自学自習を促すような授業のあり方を学部として検討する必要があるだろう。

総合評価——問 18. この授業に対するあなたの学習態度は全体として満足できましたか。

評価基準 (7 段階)	非常に満足	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	非常に不満
	7	6	5	4	3	2	1

この授業に対するあなたの学習態度は全体として満足できましたか？

	H17 前期		H17 後期		H18 前期		H18 後期		H18 二部	
評価の平均値	4.55		4.48		4.51		4.44		4.93	
7.非常に満足	518	9%	337	7%	357	7%	374	7%	155	13%
6.満足	1036	17%	826	17%	909	18%	926	17%	273	23%
5.やや満足	1506	25%	1280	26%	1378	27%	1405	25%	350	30%
4.どちらでもない	1554	26%	1325	27%	1286	25%	1518	27%	219	19%
3.やや不満	920	16%	755	16%	789	16%	916	16%	103	9%
2.不満	239	4%	202	4%	216	4%	256	5%	41	4%
1.非常に不満	164	3%	144	3%	155	3%	160	3%	29	2%
合計	5927	100%	4869	100%	5090	100%	5555	100%	1170	100%

VI セメスター制について（※1 部のみ実施）

問 19. セメスター制により学習効果が上がると思いますか。

	H17 年前期		H17 年後期・通年		H18 年前期		H18 年後期・通年	
	人	%	人	%	人	%	人	%
5. そう思う	1482	27.6%	1199	27.3%	1290	27.8%	1301	25.6%
4.	996	18.6%	859	19.6%	795	17.2%	838	16.5%
3. どちらともいえない	2482	46.2%	1953	44.5%	2233	48.2%	2603	51.3%
2.	160	3.0%	135	3.1%	128	2.8%	144	2.8%
1. 通年制の方がよい	247	4.6%	240	5.5%	189	4.1%	191	3.8%

問 20. セメスター制は、より弾力的な学生生活の設計をたてやすいですか。

	H17 年前期		H17 年後期・通年		H18 前期		H18 年後期・通年	
	人	%	人	%	人	%	人	%
5. そう思う	1261	23.5%	1097	30.4%	1144	24.5%	1117	22.0%
4.	958	17.8%	787	21.8%	810	17.4%	877	17.3%
3. どちらともいえない	2649	49.3%	1610	44.6%	2304	49.4%	2668	52.6%
2.	213	4.0%	87	2.4%	184	3.9%	197	3.9%
1. 通年制の方がよい	294	5.5%	25	0.7%	226	4.8%	218	4.3%

問 21. セメスター制による現在のカリキュラムは、とりたい科目をとりやすいですか。

	H17 年前期		H17 年後期・通年		H18 年前期		H18 年後期・通年	
	人	%	人	%	人	%	人	%
5. とりやすい	911	17.0%	800	18.2%	869	18.7%	879	17.4%
4.	797	14.9%	693	15.8%	649	13.9%	751	14.8%
3. どちらともいえない	2660	49.6%	2122	48.4%	2388	51.3%	2745	54.2%
2.	406	7.6%	312	7.1%	321	6.9%	284	5.6%
1. とりにくい	590	11.0%	461	10.5%	432	9.3%	406	8.0%

問 22. 週 2 回が適した科目と週 1 回が適した科目があると思いますか。

	H17 年前期		H17 年後期		H18 年前期		H18 年後期・通年	
	人	%	人	%	人	%	人	%
5. 全てセメスター制がよい	960	18.3%	813	18.9%	874	19.1%	834	16.7%
4.	893	17.0%	793	18.4%	694	15.2%	815	16.4%
3. どちらともいえない	3003	57.3%	2371	55.1%	2663	58.2%	3001	60.3%
2.	207	3.9%	149	3.5%	171	3.7%	176	3.5%
1. 全て通年がよい	179	3.4%	174	4.0%	171	3.7%	154	3.1%

今回のアンケート結果では、セメスター制に否定的な回答はかなり少ない。しかし、セメスター制に肯定的な回答も全体の 3 割程度であり決して多いとは言えない。いずれの設問に対しても、半数を超える学生が

「どちらともいえない」に回答している。平成 12 年に専門科目のセメスター制を導入してから 7 年が経過し、すでに商学部の学生に専門科目セメスター制度がおおむね定着したものと思われる。

Ⅶ アンケート結果の集計と教員へのフィードバック

アンケートを実施後、マークカードの読み取り作業と集計作業を業者委託により行なった。集計作業終了後、科目ごとの集計結果（各設問に対する評価の平均値、授業評価（問 8）と授業態度（問 18）のクロス集計表、出席率（問 8）と授業評価（問 8）のクロス集

計表）を科目担当教員に配布した。

マークカード裏面の自由記述欄については集計の対象とはせず、授業改善のための資料としてそのままの形でそれぞれの担当教員に返却している。

Ⅷ 今後の課題

授業評価アンケートの集計結果がまとまり公表された時にはすでに、その授業科目は終わっているため、具体的な授業改善につながりにくいのではないかと指摘がある。このため、企画構想委員会では授業評価アンケートの実施時期を従来よりも早めることを検討し、平成 18 年度後期においては、1 週間ほど早めて実施時期を設定した。

アンケートの設問については、過去の調査との継続性を考慮して、従来と同じ設問としてきた。しかし、今後はアンケートの設問についても再検討していく必要がある。これまでの設問は、通常の標準的な講義形式を前提とした設問となっている。それぞれの授業において講義方法の改善や教材の改良など新しい試みが行なわれた場合でも、その成果が授業評価アンケートの結果に現れにくいのではないかと、との指摘がある。学生による授業評価を実施する第一の目的が、授

業の改善や教育内容の充実にあるとすれば、授業形態の多様化や新たな試みにあわせて設問内容を再検討していく必要があると思われる。

また、「黒板が見にくい」「マイクの音が聞きづらい」など教室・設備等の改善に関する要望が自由記述欄に記入された場合、特に教員から申し出がない限り、現状では担当部署に情報が吸い上げられず、学生からの意見をフィードバックしにくいという問題があることを指摘しておきたい。

（文責・阿藤正道）

商学部学生による授業評価調査票

この授業評価は1996年から授業の充実を目的として実施しているものです。

調査データは商学部の授業全体の分析に用いると同時に、授業ごとにも集計し、どのような授業態度の学生がどのような授業評価を行っているのかわかる形で、担当の先生にフィードバックします。まさに、当該科目についての学生による授業評価となっています。皆様の率直かつ真剣な意見を聞かせて下さい。

回答はマーク回答欄の所定の欄に、自由記入の回答部分はマークカードの裏面に記入して下さい。

なお、無記名回答ですので、マークカードに学籍番号・氏名欄がある場合には何も記入しないでください。

〔識別（学籍）情報〕

1. 部 (1) 第一部 (2) 第二部
(ここにマークがないと入力時にはじかれてしまいます)
2. 学 部 (CM) マーケティング学科 (C) 商業学科 (A) 会計学科
(これ以外の学科については無視して下さい)
3. 学 年 (1) 1 年 (2) 2 年 (3) 3 年 (4) 4 年 (5) 5 年以上
4. 性 別 (1) 男 (2) 女
5. 入 学 (1) 一般入試 A (2) 一般入試 B (3) 地区入試 (4) センター試験利用
(5) 指定校推薦 (6) 公募制推薦 (7) 付属推薦 (8) スポーツ推薦
- (9) 留学生 (10) 編入、帰国生その他 ((0) にマークして下さい)
6. 時 限 (1) 1 時限 (2) 2 時限 (3) 3 時限 (4) 4 時限 (5) 5 時限
7. 時 限 (1) 1 時限 (2) 2 時限 (3) 3 時限 (4) 4 時限 (5) 5 時限
- ※6.7.の記入については、週1展開の授業については6.のみにマーク、週2展開の授業については6.と7.にマークすること。(8, 9は空欄)

〔授業評価〕

この授業に関して、次の各項目について当てはまるものを選んでマークして下さい。

評価は下記のような5段階評価をお願いします。

非常に良い 良 い 普 通 悪 い 非常に悪い
(5) (4) (3) (2) (1)

(マークカードの一番上の1が(5)(4)(3)(2)(1)一番悪い評価となることに注意)

1. 説明の仕方について（わかりやすく、要点がうまく話されていましたが）
2. 板書について（黒板などの字や図が見やすく書かれていましたか）
3. 教材について（テキスト、配布資料などは効果的に活用されていましたか）
4. 授業内容について（授業に興味・関心を持ちましたか）
5. 学生との交流（学生へ質問をしたり、学生の意見を聞いたりしましたか）
6. 私語をする学生・騒ぐ学生に対する指導（適切な処置をとっていましたか）
7. 教える意欲・熱意（これらが伝わりましたか）

〈総合評価〉

8. この授業は全体として満足できましたか。（これは7段階評価です）
- 非常に満足 満 足 やや満足 どちらでもない やや不満 不 満 非常に不満
(7) (6) (5) (4) (3) (2) (1)

〔授業態度〕

次にあなたの授業態度についてお尋ねします。

9. あなたのこの授業への出席率はどれくらいでしたか
(5) 81%～100% (4) 61～80% (3) 41～60% (2) 21～40% (1) 0～20%

あなたのこの授業への取り組みはどうでしたか。次の各項目について当てはまるものにマークして下さい。

- | | よくした | どちらともいえない | 全くしなかった | |
|---------------------------------------|----------------------------|-----------|-------------|--|
| 10. ノートをきちんととった | (5) | (4) | (3) (2) (1) | |
| 11. 予習、復習をした | (5) | (4) | (3) (2) (1) | |
| 12. 自発的に調べた | (5) | (4) | (3) (2) (1) | |
| 13. 先生に質問をした | (5) | (4) | (3) (2) (1) | |
| 14. 友達と話し合って理解した | (5) | (4) | (3) (2) (1) | |
| 15. 私語をしないように努力した | (5) | (4) | (3) (2) (1) | |
| 16. 定刻までに着席した | (5) | (4) | (3) (2) (1) | |
| 17. この授業を履修した理由は何ですか（1つのみマーク） | | | | |
| (1) (選択) 必修だから | (2) 科目の内容に関心を持ったから | | | |
| (3) 単位が取りやすそうだったから | (4) 担当教員に関心を持ったから | | | |
| (5) 将来の進路と関連するから | (6) 親しい友人が履修するから | | | |
| (7) 去年の履修者から薦められたから | (8) この時間帯には他にとりたい授業がなかったから | | | |
| 〈総合評価〉 | | | | |
| 18. この授業に対するあなたの学習態度は全体として満足できましたか。 | | | | |
| 非常に満足 満 足 やや満足 どちらでもない やや不満 不 満 非常に不満 | | | | |
| (7) (6) (5) (4) (3) (2) (1) | | | | |

商学部は平成12年よりセメスター制を採用しています。セメスター制は学習効果が上がる、学外活動等とバランスのとれた学生生活を送れるなどの長所があると言われています。そこでセメスター制について皆さんにお尋ねします。なお、他の授業でアンケートに回答された場合は、〔自由記入〕に進んでください。

19. セメスター制により学習効果が上がると思いますか。
- そう思う どちらともいえない 通年制の方がよい
(5) (4) (3) (2) (1)
20. セメスター制は、より弾力的な学生生活の設計をたてやすいですか。
- そう思う どちらともいえない 通年制の方がよい
(5) (4) (3) (2) (1)
21. セメスター制による現在のカリキュラムは、とりたい科目をとりやすいですか。
- とりやすい どちらともいえない とりにくい
(5) (4) (3) (2) (1)
22. 週2回が適した科目と週1回が適した科目があると思いますか。
- 全てセメスター制がよい どちらともいえない 全て通年がよい
(5) (4) (3) (2) (1)

〔自由記入〕〔マークカード裏面に記入してください〕

1. 授業で感じたこと、よい点、改善してもらいたい点などを自由に記入してください。
2. 業内容について意見があれば自由に記入してください。

*****ご協力ありがとうございました*****